

平成30年度予算見積調書

課室名: 会計課

担当名: 予算係

内線: 2234

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B20	大規模警備（東京オリンピック等）のための装備・体制強化		一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	一般活動費		
事業期間	平成27年度～	根拠法令	警察法		宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化			
					分野施策	020516 危機管理・防災体制の強化			
1 事業の概要			5 事業説明						
<p>平成32年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模イベントの開催競技会場を抱える県として、早期に、そして計画的に諸対策を推進する。</p> <p>(1) 各種会議・講習関係経費 2,433千円 (2) 装備資機材整備経費 68,132千円 (3) テロ対策関係システム整備経費 5,681千円 (4) 官民合同訓練経費 493千円 (5) 直轄警察犬指導士の育成経費 699千円 (6) 直轄警察犬初度調弁経費 2,666千円 (7) 現地指揮機能の強化 16,117千円 (8) 本部指揮機能の強化 90,016千円 (9) 自衛隊観閲式関係経費 8,687千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 各種会議・講習関係経費 官民合同の協議会開催、危機管理講習等の受講 2,433千円 イ 装備資機材整備経費 銃器・爆発物・NBC対策資機材、ドローンの整備等 68,132千円 ウ テロ対策関係システム整備経費 テロ情報分析、監視カメラ画像検索のリース料 5,681千円 エ 官民合同訓練経費 関係機関と合同訓練を開催 493千円 オ 直轄警察犬指導士の育成経費 爆発物探知犬指導士の育成訓練 699千円 カ 直轄警察犬初度調弁経費 直轄警察犬制度導入に当たって必要な犬舎備品や訓練備品等 2,666千円 キ 現地指揮機能の強化 警備現場の映像を本部に伝送するモバイル映像伝送装置を整備 16,117千円 ク 本部指揮機能の強化 総合指揮室のモニター増強等、映像制御関係装置を整備 90,016千円 ケ 自衛隊観閲式関係経費 自衛隊観閲式警備のための各種資機材や通信費等 8,687千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>平成30年度 本部指揮機能の強化、モバイル映像伝送装置の整備、テロ対策資機材の整備、自衛隊観閲式警備 平成31年度 ラグビーワールドカップ2019大会警備、現地指揮機能、テロ対策資機材の整備 平成32年度 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会警備 平成33年度以降 大規模警備時やソフトターゲットに対する各種テロ対策を継続的に実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア テロ・ゲリラ対策や治安維持体制を整備する。 平成32年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、計画的に官民一体となった危機管理体制の基盤を構築し、万全の警備体制で臨むことにより、県民の安全を確保し、治安を維持する。 イ テロ事案だけではなく、大規模災害発生時や防犯活動においても活用できる。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	194,924	県 債						106,924	80,725
前年額	114,199							114,199	